

システム導入手順

1. Natyre Remoにエアコンを登録

- 1-1. Nature Remoのアプリからエアコンを登録
- 1-2. Nature Remoのアクセストークンを発行し、保存する

2. LINE Developersへの登録とチャンネルの作成

- 2-1. LINE Developersに登録し、プロバイダの作成を行う
- 2-2. 新規チャンネル作成でMessaging APIを選択し、以下の設定を行う
 - ・応答メッセージ:無効
 - ・挨拶メッセージ:無効
 - ・チャンネルアクセストークンの発行
- 2-3. 発行したチャンネルアクセストークンは保存しておく

3. 記録用スプレッドシートの作成

- 3-1. Googleドライブ上でGoogle スプレッドシートを作成し、シート名を”sensor”に変更する
- 3-2. 以下の画像のようにスプレッドシートに入力する

	A	B	C	D	E
1	日時	温度	湿度	不快指数	
2					
3					
4					
5					

- 3-3. スプレッドシートのIDを記録する

4. リッチメニュー用画像の作成

- 4-1. <https://github.com/NUPBL3/Group-F> からrichmenu1.png, richmenue2.pngをダウンロードし、Googleドライブに保存
- 4-2. richmenu1.png, richmenue2.pngのIDを記録する

5. GASの作成

- 5-1. Google Apps Script のプロジェクトを作り、<https://github.com/NUPBL3/Group-F> から、コードをダウンロードする
- 5-2. property.gsの”Nature Remo用のアクセストークンを入力”の部分でNature remoのアクセストークンに変更する
- 5-3. スプレッドシートID、リッチメニュー用画像ID、Messaging APIのアクセストークンについても5-2と同じことを行う
- 5-4. property.gsのsetTokens関数を実行する

6. LINE botの設定

- 6-1. デプロイ→新しいデプロイを選択する
- 6-2. 種類の選択→ウェブアプリを選択する
- 6-3. 以下の設定でデプロイする
 - ・次のユーザとして実行:自分

- ・アクセスできるユーザー:全員

6-4.ウェブアプリのURLをコピーし、完了を選択

6-5.作成したチャンネルのwebhook URLをウェブアプリのURLに設定する

6-6.richmenuSetting.gsのrichmenuSetUp関数を実行し、リッチメニューを作成する。

6-7.QRコードから作成したチャンネルを友達登録する